

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳牧場	所管課	畜産課
所在地	本場:北杜市小淵沢町大平10061 天女山分場:北杜市大泉町西井出8240-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和43年4月1日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県子牛育成協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳牧場の設置及び管理に関する条例		
設置目的	農家家畜を受託放牧するとともに、県有牛を改良増殖し繁殖牛・肥育素牛を供給し、もって本県の畜産振興に資することを目的とする。		
主な施設内容 (定員等)	本場:事務所(250㎡)、看視舎(148㎡)、分娩牛舎(390㎡)、追込牛舎(918㎡)、ほ育牛舎(266㎡)、育成牛舎(581㎡、1,080㎡)、乾草庫(169㎡)、たい肥舎(150㎡)、たい肥化処理棟(1,811㎡)、農機具庫(292㎡、156㎡)等 天女山分場:事務所(33㎡、8㎡、50㎡)、避難舎(162㎡、162㎡)、農機具庫(162㎡)、農機具庫・衛生検査施設(73㎡)等		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 家畜の飼養管理及び改良増殖に関する業務 牧草の栽培に関する業務 家畜排せつ物のたい肥化に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	なし
---------------------	----

3 利用状況

単位:頭、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
受託頭数	受託頭数	112,491	113,638	121,711	
	受託頭数合計	112,491	113,638	121,711	
	目標値	110,000	110,000	110,000	110,000
	目標値設定の考え方	過去5年間の平均受託頭数で設定	基本協定書の利用料収入計画に基づく頭数	基本協定書の利用料収入計画に基づく頭数	基本協定書の利用料収入計画に基づく頭数
	対23年度比	100.0%	101.0%	108.2%	97.8%
稼働率					

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	41,878,430	40,632,000	44,791,310	41,792,000
	指定管理者委託料	188,603,000	189,653,000	189,653,000	199,140,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	230,481,430	230,285,000	234,444,310	240,932,000
支出	人件費	136,499,450	144,479,000	139,499,888	149,329,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	93,432,058	85,806,000	94,078,086	91,603,000
	(うち外部委託費)(B)	2,199,760	1,879,000	1,973,723	1,933,000
	支出合計(C)	229,931,508	230,285,000	233,577,974	240,932,000
収支差額(A - C)		549,922	0	866,336	0
外部委託比率(B ÷ C)		1.0%	0.8%	0.8%	0.8%
受託頭数一頭当りの経費		1,660	1,724	1,558	1,810

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成26年2月～26年3月、実施方法:平成25年度の預託利用者及び売却牛と堆肥の購入者へのアンケート(聞き取り調査)、回答数:48人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
家畜の受託に対する満足度	97.1%	0.0%	2.9%	0.0%
県有家畜の売却に対する満足度	93.8%	0.0%	6.2%	0.0%
堆肥の満足度に対する満足度	85.9%	14.1%	0.0%	0.0%
各項目の平均	92.3%	4.7%	3.0%	0.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・受託家畜の乳頭腫撲滅、発育向上、繁殖管理の向上を望む。冬季の飼養施設の増設を希望する。 ・売却頭数を増やしてほしい。定期的に身近で子牛導入ができて助かる。更なる資質向上を望む。 ・堆肥が取り扱いやすく品質がよい。配達に係る職員の対応が親切。軽トラの小口販売も便利でよい。また利用したい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・受託家畜を健康に育成すべく日常の飼養管理に取り組んでおり乳頭腫の重症事例は減少。良質な牧草を生産し発育向上に努めるとともに繁殖管理を強化・充実する。 ・血統と育種価を考慮し県有牛の一層の改良を進めるとともに、良質粗飼料給与や飼養管理技術の向上により、個体差を少なくし全体のレベルアップを図っている。 ・より品質の高い堆肥の安定生産を継続していく。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に実施し車両・農機具の保全管理に努めるとともに、修理はできる限り自前に対応し修理費用の節約に努めたが、多くは耐用年数を超過しており、計画的な更新が必要である。また、分娩牛舎の早急な改修工事が必要である。 ・引き続き、獣害対策として原材料を購入し自家施工によりシカの食害防止対策を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き適切な保全管理に努めるとともに、修繕については可能な範囲で行なうこと。 ・牧草のシカ食害防止対策を実施し、効果が出ていることは大変評価できる。今後とも獣害対策に努めてもらいたい。
運營業務	<ul style="list-style-type: none"> ・優良種雄牛の交配に努め、生産子牛を目標以上に供給した(供給目標:130頭 実績154頭)。 ・家畜の受託延べ頭数は目標及び前年実績を上回った。今後さらなる利用頭数の拡大に努める。 ・簡易的草地更新に取り組んでおり、土壌分析結果を参考にした肥培管理や設置した害獣防護柵の効果により採草地の収穫量は回復傾向である。 ・県有牛の売却農家巡回調査指導業務、家畜改良増殖業務(酪農試験場への供卵牛供給、牧場での採卵)は適正に実施した。 ・堆肥販売は敏速な対応に努め、ほぼ計画量を販売した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標以上に生産子牛を供給できたことは大変評価できる。引き続き、県有家畜の適正な管理に努め、生産子牛頭数を確保すること。 ・受託頭数が目標を達成し、また前年実績を上回ったことは大変評価できる。引き続き、利用頭数確保に努めること。 ・県有牛売却先農家への飼養管理指導や酪農試験場への供卵牛供給等は、県内の肉用牛振興を推進する上で評価できる。今後ともより一層の県有家畜改良業務に推進されたい。 ・堆肥販売は、引き続き迅速、丁寧な対応に努めるとともに、利用農家の拡大に努めること。
自主事業		
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者の開拓や積極的な中途入牧の受入等により、受託頭数は目標及び前年実績を上回った。今後も利用頭数の確保に努めるが、冬期は粗飼料の確保と飼養施設の整備が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な努力により、受託頭数が目標及び前年実績を上回ったことは大変評価できる。引き続き、積極的なPR活動を行い、受託家畜頭数の目標を達成し、またそれ以上に伸ばせるよう努めること。
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入は計画を上回ることができた。 ・支出合計は計画を上回り、需用費の増加を人件費の削減により補っている状況である。今後も飼料や肥料価格高騰による更なる負担増が懸念される。修繕費は自己修理により経費が抑えられている状況である。施設・車両機械ともに老朽化が進み、安定経営のためにも車両・機械等の計画的な更新を県に要望していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入が計画を上回ったことは高く評価できる。 ・飼料・肥料価格高騰や車両・機械等の老朽化に伴う修繕費が経営の不安材料となっているので、更新等含め検討していきたい。
利用者満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からは預託牛の乳頭腫の撲滅、発育向上や売却牛の資質の向上等、より高いレベルが求められており、善良管理と更なる技術力向上に努め、満足度を一層高めていきたい。冬期預託の受入頭数拡大や売却頭数の増頭については、施設増設や粗飼料確保が必要となるため、県とともに実現の可否を検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からは概ね高い満足度が得られているが、預託牛の乳頭腫撲滅や県有牛の資質向上には多くの要望が上げられているので、これらのことについては引き続き改善に取り組まれない。

<p>運営目標の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜の年間受託延べ頭数は12万1,711頭で、目標(11万頭)及び前年度実績(11万3,638頭)を上回り、達成率は111%で、目標以上が達成されている。 ・生産子牛の供給頭数は154頭で、目標(130頭)及び前年実績(148頭)を上回り、達成率は119%で、目標以上が達成されている。
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種業務は適正に実施されており評価できる。 ・引き続き、家畜の年間受託延べ頭数を確保するよう努めること。 ・利用者の要望に応えながら、家畜受託、売却子牛生産、堆肥生産等に努めること。
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き各業務を適正に実施している。 ・預託業務を農家に周知・PRして新規利用農家を開拓し、預託牛の管理サービスを強化・充実させることで、受託頭数の確保に努めている。また、適切な施肥を行い、有害獣対策も行うなどして、放牧草地の適正管理と良質な自給飼料確保に努め、効率的な県有牛の飼養管理を行っている。農家への周知・PRの徹底、新規利用農家の開拓、受精卵移植等の繁殖に対するサービスの強化充実とともに、適正な草地管理や有害獣対策により良質な牧草を生産し、受託頭数の確保に努めている。 ・利用者からは、預託牛の多くが罹患する乳頭腫の撲滅、発育の向上や生産子牛の資質・増体の向上等が求められており、これらの要望に応えるべく飼養管理技術の向上にも努めている。

7 管理体制(組織図)

